

きもの豆知識

型絵染について

4月8日～10日に撞木館で開催する『型染を巡る旅展』。そんな型染めのなかでも、型絵染というアート性の高い染物があることをご存知ですか？今回は型絵染について少し触れてみたいと思います。

通常の型染めは

各工程は、それぞれの職人が分業で行います。それぞれの工程はそれぞれの職人名さんが受け持ちます。

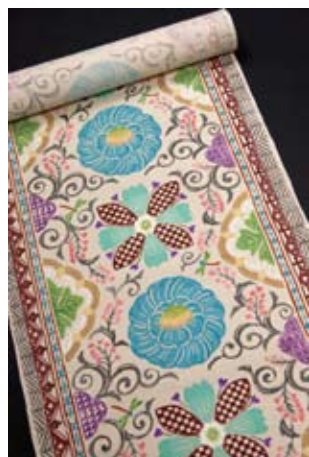
型絵染とは

型絵染の特徴は、作家がすべての工程（図案、型彫り、糊置き、染め、糊伏せ、地染め）を一人で完成させます。



個性的なよりアート性の高い作品

型絵染の作家の多くは、国画会や工芸会といった団体に所属し、年に一度展覧会に作品を出品しています。



型絵染の大家には

芹沢銈介、鎌倉芳太郎
添田敏子、柚木沙弥郎
稲垣稔次郎、小島恵次郎
ほか



型絵染をもっと深く知るには



静岡県立芹沢銈介美術館

静岡県静岡市駿河区登呂 5-10-5

多くの人があこがれる芹沢銈介の世界を満喫できます。

歌舞伎のススメ

～熊谷陣屋（くまがいじんや）～

歌舞伎や文楽で人気の演目『一谷嫩軍記』（いちのたにふたばぐんき）。そんな中でも3段目の切『熊谷陣屋』（くまがいじんや）は上演回数も多く、この作品のことを通称で熊谷陣屋と呼ぶことも多いようです。

この作品は、実は並木宗輔という浄瑠璃作家によって書かれていますが、三段目までを執筆して病没したため、そのあとはほかの作家によって作られています。

源平合戦のさなか、源氏の武将熊谷直実（くまがいなおぎね）は平家の若武者平敦盛（たいらのあつもり）を討ちました。実は敦盛は後白河法皇（ごしらかわほうおう）の子であり、その母・藤の方は、かつて熊谷を救った恩人。生田の森の熊谷の陣屋に、主君源義経（みなもとのよしつね）が来訪。敦盛の首実検が行われることとなります…。

そこにあるのは熊谷直実の息子小次郎の首。実は主君の命により、一騎打ちの際、敦盛と息子小次郎を入れ替えて、敦盛を逃がしていたのです。大義の前には、わが子の命さえも犠牲にするのが武士の社会でした。しかし、豪毅な武士といえども子を討った悲しみは重く、直実が小次郎の首に驚く熊谷の妻相模と藤の方を制する「制札の見得（せいさつのみえ）」には、その苦悩が表れています。戦の世の無常、人生の儚さが胸をうつ、重厚な義太夫狂言の名作です。



かわちやの

着付教室 12回

1回1000円

かわちやの着付け教室ではそれぞれの目的やスケジュールにあわせたカリキュラムを組んでいきます。

お気軽にご相談ください。

お問い合わせは

TEL 0563-35-0039 大橋幸子まで

かわちやの
ワンポイント着付教室

1,000円

半巾帯の結び方など
ピンポイントでお教えます。
(2時間)

着物でお出掛け倶楽部

『ぶらり浮世絵散歩』の旅

お食事は日本料理『宝善亭』

日時 4月26日(火)

9:30出発 17:00解散予定

会費 6500円

着物クリーニング

何でも 汚れの種類や程度によって追加料金がかかる場合がございます。

2点7,560円

着たあとのお手入れは大切！

型染を巡る旅展



かわちやの型染めコレクションを名古屋 文化のみち 撞木館（しゅもくかん）にて展示いたします。

とき 2016

4/8金 ～ 10日

午前10時 ～ 午後5時（最終日は4時）

ところ 名古屋市 文化のみち撞木館 和室1

草履・下駄はありますか？

履物の調整

1足500円



イベント案内

春のお出掛け展（洋品）

4月16日（土）～18日（月）

藍染めの服・酒袋バッグ・くつ